

その間に政権の交代もありましたし、我が国港湾を取り巻く情勢も厳しさを増してきていますが、今日ほど港湾整備の重要性が要請されている時はありません。今後一層、知恵を働かせ、各港の持つ「港湾力」を最大限に生かして港湾の整備振興そして地域の振興のための活動を行っていく必要があります。

幸い、後任の会長には、副会長で新潟市長として9年間に亘り、港湾整備振興、地方行政に手腕を発揮されておられる篠田 昭(しのだ あきら)氏が選任されましたことは非常に心強く思うところであります。

新しい会長の下で、当連合会が更なる発展を遂げますよう、引き続き皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、連合会及び会員各位の今後ますますのご発展を祈念いたしまして私の退任の挨拶といたします。

:

2 会長就任挨拶（平成23年10月6日）

～日本港湾振興団体連合会 第五代会長 篠田 昭～

::*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*:*~



10月に沖縄・那覇市で開かれた第45回通常総会で、伝統あるこの会の会長を平松守彦・前大分県知事から引き継ぐことになった。

一村一品運動で広く国内外に知られた平松先輩の跡を引き継ぐことは大変な重責であり、「その任にあらず」との思いも強くあったが、長年のお付き合いである鬼頭理事長らのご推挙を受けさせていただくことにした。

いま、港をめぐる環境は大きく変化しようとしている。貿易はこれまでの北米中心の時代から、大中華圏を中心としたアジアにウエートを移している。そんな中、国はスーパーハブ港湾、バルク拠点港に次ぎ、日本海拠点港の選定に入っている。新潟港は、近年伸びが著しい日本海物流の一翼を担っており、こんな時代に本州日本海側のセンターに位置する新潟市の市長が会長を務めさせていただく意味があるかもしれない、と個人的には受け止めている。

私ごとでさらに言えば、私の亡父は日本通運に務め、その大半を新潟港支店で過ごした「港屋」だった。港の発展を夢見て、小なりといえど力を尽くした父から「お前が港湾の会長だって…、大丈夫らか」と心配されないよう、精いっぱい務める所存なので、ご協力をよろしく申し上げます。

*:

2 トピック

*:

◆第45回通常総会を那覇港で開催！～12年ぶり～

(那覇港振興協議会)

日本港湾振興団体連合会の第45回通常総会が、去る10月7日（木）から8日（金）にかけて「那覇港」で開催されました。前回、那覇港で通常総会が開催されたのは平成11年度ですから12年ぶりとなります。

総会には全国各地から来賓及び会員80名余りが出席されました。始めに当連合会の平松会長の主催者挨拶があり、地元振興協議会の比嘉会長の歓迎挨拶のあと、室井国土交通大臣政務官、与世田副知事から来賓挨拶がありました。

総会に提案された議案は原案どおり全て承認され、引き続き行われた記念講演会では、商船三井客船株式会社 萩原代表取締役社長による「にっぽん丸 飛んでクルーズ沖縄」と琉球大学 高良教授による「琉球王朝時代的那覇港の歴史」と題する講話があり、会場では熱心に聞き入る参加者の姿が見えました。

今回、総会の最後で当連合会の会長を4期8年勤めあげた平松前会長への感謝状贈呈式が行われましたが、司会進行を務められた八木下事務局長が声を詰まらせながら紹介なされた場面は、大変印象的でした。

次回（平成24年度）の通常総会は、世界遺産 姫路城でお馴染みの「姫路市」で開催されます。より多くの会員が参加されることを期待しています！



【与世田副知事の来賓挨拶】



【平松前会長への感謝状授与】

◆三河港モーターショーを開催しました！

(三河港振興会)

平成23年10月8日（土）、豊橋市神野新田町のホテルシーパレスリゾートにて「三河港モーターショー」を開催しました。

本モーターショーは、世界有数の国際自動車港湾である三河港を利用する自動車メーカー等が開発した自動車展览展示することにより、自動車港湾三河港の実績や役割を広く市民に知ってもらおうとともに、輸入自動車やハイブリッド車などを実際に触れてもらうことで自動車メーカー・ディーラーとの交流の促進を図るため平成21年度から開催しています。

当日は、豊橋市に本社を置くフォルクスワーゲンやトヨタ、スズキ等の8社21台の自動車や三河港の国際自動車港湾としての実績が紹介されたパネルが展示され、約1,000人の市民で賑

わいました。

そのほかにも、会場では、ハイブリッド車を使用した燃費コンテストや子供向けのクイズラリー、キーホルダー作成体験などが行われました。また、ミスみなとの3女王が来場し、撮影会のモデルを務めモーターショーを大いに盛り上げました。

三河港振興会では、今後もこのようなイベントを通じ、市民に身近な存在としての「三河港」を広くPRしていきたいと思えます。

□三河港振興会ホームページ <http://www.port-mikawa.jp/>



◆国際クルーズ振興に向けた検討会を開催しました

(北海道開発局 港湾計画課)

北海道開発局では、道央圏港湾※及び関係自治体など11団体で構成する「国際クルーズ振興に向けた検討会」を設置し、平成23年8月4日に第1回目の会合を札幌第1合同庁舎にて開催しました。

本検討会は、本年4月に合意が図られた「道央圏港湾の広域連携による機能強化に向けた基本合意」における連携事項の1つであるクルーズ観光振興について取り組んでいくものです。道央圏港湾及び北海道や関係市町村等の各関係機関がお互いに連携を図りながら、北海道への国際クルーズ船の寄港促進に向けた取り組みを進めていきます。

第1回検討会では、北海道への国際クルーズ船の寄港状況や現状の各港での取り組み、そしてクルーズ船誘致に向けたアクションプラン作成に向けての意見交換が行われ、東日本大震災による風評被害の拡大防止や今後の国際クルーズ船の寄港数増加に向け、お互いが連携して誘致に取り組んでいくことが確認されました。

本検討会では年内に国際クルーズ船誘致に向けたアクションプランの作成を目指しています。



第1回検討会の様子

※道央圏港湾は、室蘭港・苫小牧港・小樽港・石狩湾新港・白老港の5港

□ホームページ

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_kowan/cooperation/sonota_110804.html

◆全国で初の「湖」での『みなとオアシス』認定！～みなとオアシス十和田湖～

(東北地方整備局 八戸港湾・空港整備事務所)

9月23日、十和田湖休屋港において登録証授与式が開催され、(社)十和田湖国立公園協会会長(小山田久十和田市長)に登録証が授与されました。主催者を代表して、津島国土交通大臣政務官から「地域の活性化や観光振興に大きく寄与することを期待している」とあいさつ。

小山田会長からは「休屋港を中心とした観光ネットワークを築き情報発信したい」と誘客に期待を込めた謝辞があった。おわりには、地元の十和田保育園園児によるアトラクションとして「よさこい」の演舞で締めくくり、十和田湖に観光で来られた方々からも大きな拍手がおこるなど盛況に終わることが出来ました。

『みなとオアシス』は、全国で56カ所が認定されていたが、湖の登録は“全国初”。青森県内では八戸、青森港に続いて3番目。東北地方整備局では、今後、ホームページでの周知など地域活性化の取組みに対し支援を行ってまいります。



登録証授与式の模様



地元保育園児による「よさこい」演舞



参加者全員で記念撮影

◆徳島小松島港沖洲ターミナル整備事業起工式を開催

(四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所)

7月30日(土)に徳島小松島港沖洲(外)地区で進める「徳島小松島港沖洲ターミナル整備事業」の起工式が、地元選出国會議員や港湾事業関係者ら約70名の出席により行われました。

本事業は、水深8.5メートル耐震強化岸壁と背後の埠頭用地を整備するものです。複合一貫輸送ターミナルとして、15,000トン級の大型フェリー等が接岸可能となります。

東海・東南海・南海地震等の大規模地震の発生に備えた「緊急物資等の海上輸送能力の強化」、及び四国横断自動車道と長距離フェリーの輸送手段を組み合わせた「効率的な輸送体系の確立」を目指します。

現在、津田地区に寄港しているオーシャン東九フェリー(東京～徳島～北九州)が、輸送能力の向上と、輸送コスト削減に向けた船体の大型化を検討しており、新たなターミナルを利用する予定となっています。

地域経済の活性化に向け、物流ネットワークのさらなる充実強化に取り組んでいきます。



